

第1回学校運営協議会だより

6月9日（月）今年度第1回目となる桜山中学校・東岩槻小学校学校運営協議会が、東岩槻小学校にて開催されました。

午後2時30分開会、両校校長挨拶、委員に委嘱状交付の後、会長・副会長が選出され、会長に八巻 功氏（東岩槻自治会連合会会長）副会長に青山朋美氏（主任児童委員）、中嶋 薫氏（桜山中学校サポートチーム代表）、小沼しのぶ氏（東岩槻小学校すわっ子サポート隊代表）が決定しました。

そして各委員の自己紹介の後、両校校長から、両校の今年度の学校運営に関する基本方針・カリキュラムマネジメントデザインマップ（年間指導計画の系統性を明らかにしたデザインマップ）の説明がありました。質疑の後、委員から方針等について承認をいただきました。

続いて、昨年度からの、本協議会で設定した小・中学校の共通目標である「豊かなかかわり合いの充実」の達成に向けた取組である「東岩槻地区“笑顔の架け橋”あいさつ運動」について、その活動をさらに盛り上げていくための熟議を行いました。各委員は6つの小グループに分かれて、短い時間ではありましたが、それぞれの立場からのご意見をもとに「熟議」することができました。

以下に、各グループから報告された発表内容の要旨を掲載します。

○自分からあいさつする子どもは減っているように感じる。こちらからあいさつすれば返すが…。

今、あいさつの習慣づけが必要と思う。

○地域に居住する我々があいさつ運動に取り組むことによって、子どもたちと顔見知りになり、信頼関係が築かれることから、この“あいさつ運動”は継続していく必要がある。

○“あいさつ運動”の日は、とてもほほえましい様子が見られる。あいさつが返ってこないこともあるが、大人が望ましい姿を見せることによって、自らあいさつする場面も増えてくるのではない

か。心と心が通い合うあいさつを続けていきたい。

○子どもたちと地域との関係性を築くためにも、継続していきたいが、より人が集まる場面での実施も考えてよいかもしれない。

○防犯意識の向上から人に出会う機会が少なくなったことも一因。地域の人に触れる機会を増やし、つながる関係を築いていくことが大事と思う。

学校運営協議会次第

- 1 開会
- 2 両校校長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 自己紹介
- 5 会長・副会長選出
- 6 学校経営方針等の説明と承認
- 7 熟議・発表
- 8 質疑応答
- 9 まとめ
- 10 閉会

熟議とは

学校や保護者、地域の方々などが集まり、「熟慮」と「議論」を重ねながら、課題解決を目指す対話のことです。

